

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	上位目標は、パンジャブ州マリー地区郊外において、水道水供給システムを修理・建設することにより、良質な水を供給し水に起因する疾病を予防するとともに主として女性を水汲みの重労働から解放することである。各要素毎の達成度は次のとおりである。 イ) 水道供給システムの修理・建設 水源タンクの増加など一部修正を行ったことを除き、計画通り水タンクの建設、修理を行うとともに、これを結ぶパイプラインを敷設した。また、期間内に関連工事、行事並びにアンケート調査も終えることが出来た。 ロ) 良質な水の供給による疾病予防 水質検査結果は良好であり、タンク内に貯蔵されている水は極めて安全であることが確認された。水道施設完成後の疾病発生は認められないことから、今後とも水に起因する疫病は予防できると予想される。 ハ) 女性から水汲みの重労働を軽減 水道施設完成後、水汲みの距離、時間が大幅に減少した。また、渇水期でもタンク内に水が貯蔵され、順番待ちの時間がほとんどなくなった。
(2) 事業内容	1 個のメインタンクの建設、8 個のサブタンクの建設及び 1 個の修理、3 個の水源タンクの設置及び延約 14.4 km の水パイプの敷設を行なった。水源タンクが当初計画の 1 個から 3 個に、水パイプが 12.2 km から 14.4 km へ増加したが、いずれも水道管理組合との協議の結果によるものである。 また、地元住民参加による水道管理組合を組織し、水道施設が破損した場合の修理技術や水質検査等その維持補修に必要な技術を移転した。
(3) 達成された効果	タンク近傍 374 世帯のうち約 340 世帯が本水道施設を利用しており、対象世帯の約 90% が裨益している。 イ) 水汲み労働の軽減 飲料水運搬距離では 1.1 km (1.826 km から 0.68 km)、運搬時間では 50 分 (1.47 時間から 0.57 時間) 減少し、労働負担の減少に大きく寄与できた。 ロ) 疾病防止 事業前発症率 9 % が事業後 0 % となり、水に起因する疾病防止に寄与できた。 ハ) 飲料水の購入 水購入世帯が 18 % から 3 % に減少し、家計に貢献できた。

	二) 家庭生活への寄与 水運搬に使用していた時間は、主婦にあっては家事と子供の世話に 95%、子供にあっては勉学に 89% (自習 63%、通学 26%) を費やしており、住民の家庭生活に寄与している。
(4) 持続発展性	イ) 水道管理組合への技術移譲 事業開始当初より、住民が組織する水道管理組合に対し、水道施設完了後の維持管理について強く指導してきた。また、システム建設後、同組合に対し、施設修理技術、水質検査、タンク清掃等維持管理に必要な技術を移転するとともに、部品及び工具等補修資機材を供与した。 ロ) 水道管理組合の活動 水道管理組合は、原則各家庭 100 ルピーの徴収、供給時間の設定及び結婚式など多くの水を使用する家庭への優先使用などの規則を設定するとともに、維持管理要員 2 名を雇用している。 ハ) 行政機関等との連携 上級行政組織のマリー郡から今後の管理支援について同意を得ている。 以上のことから、本事業地シハンナ村においては、水道組合が将来に亘って施設の維持管理を確行すると思料している。